



オーストラリア債券投資のヒント

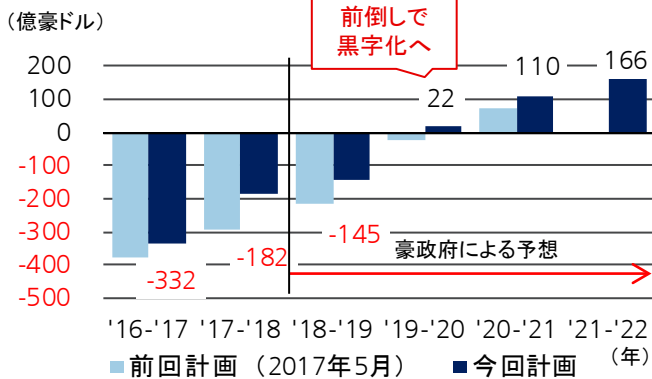
～堅調な国内景気を背景に財政は健全化へ、景気刺激策にも注目～

- 豪州政府は、5月、2018年度(2018-19年)の予算案を発表しました。
- 財政については、基礎的財政収支の黒字化の達成時期が1年前倒しされました。
- 予算案には所得減税やインフラ投資計画など景気刺激策も組み込まれました。
- 豪州の高い信用力は維持される見込みから、豪州債券市場への資金流入は回復傾向にあります。

POINT 1 オーストラリアの財政は健全化へ

- 予算案では、財政計画について、資源価格の反発や企業業績が過去最高となる中、法人税収が伸びるとの予想から、黒字化の達成時期が今年の計画に比べ1年前倒しされました。
- GDP成長率については、政府は2017年度が2.75%、2018年度以降は3%となると予想しており、豪州の経済成長が加速する見込みであることが示されました。予算案には、所得減税(今後4年間で約1兆円)や長期のインフラ投資計画など景気刺激策も組み込まれました。

■ 豪州政府の基礎的財政収支見通し(18-19年*予算計画)



*豪州の年度は7月～6月

出所: オーストラリア連邦政府 (Budget2018-19)より当社作成

進行中の主なインフラ整備計画	
メルボルン	空港から中心部への鉄道整備 (約50億豪ドル)
パース	鉄道新設と拡充 (約10億豪ドル)
アデレード	道路拡充 (約12億豪ドル)
シドニー	西シドニー空港建設 (約53億豪ドル)

POINT 2 オーストラリア債券への資金フローが回復

- 昨年後半以降、海外投資家によるオーストラリアへの資金流入は回復傾向にあります。
- 財政健全化が進む中、オーストラリアは高格付けを維持するとみられ、信用力の面からも引き続き魅力的な投資先と考えられます。

■ 海外投資家による証券投資



出所: オーストラリア統計局データより当社作成

上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

■ 主な先進国の格付け

格付	主な国
AAA	オーストラリア、ドイツ、カナダ、スイス、デンマーク
AA+	米国、香港
AA	英国、フランス
A+	日本

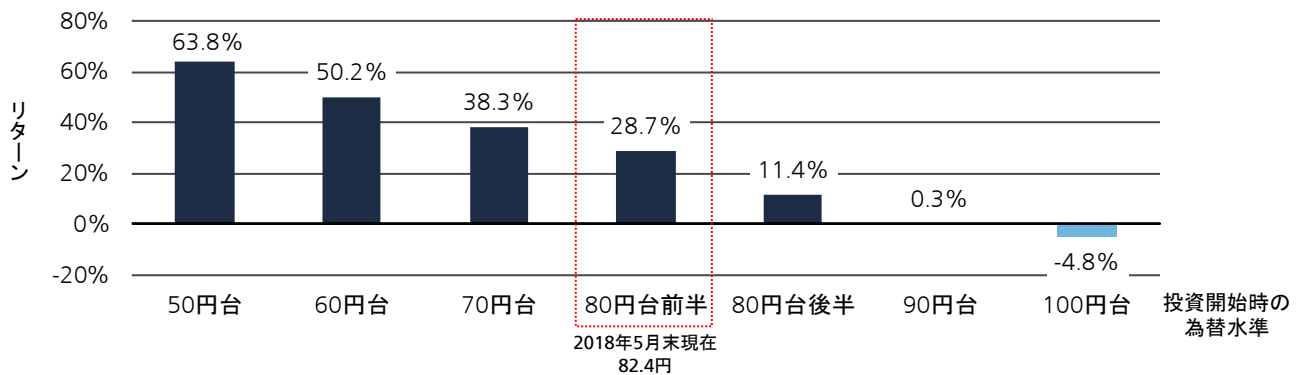
格付けは、S&P自国通貨建て長期債格付(2018年6月現在)

POINT 3 長期保有で発揮されるオーストラリア債券投資の魅力

- 下のグラフは、投資開始時の為替水準と、保有期間別リターンの過去の平均を示しています。
- オーストラリア債券を3年間保有した場合、豪ドルが対円で90円台以下で投資開始した場合は、過去の平均リターンはプラスとなっています。また、豪州債券を5年間保有した場合は、100円台でも過去の平均リターンはプラスとなっています。
- オーストラリア債券投資は、対円での豪ドルの影響を受けるものの、より長期で保有することで金利部分の積み上がり等により、パフォーマンスが高まる可能性があるといえます。

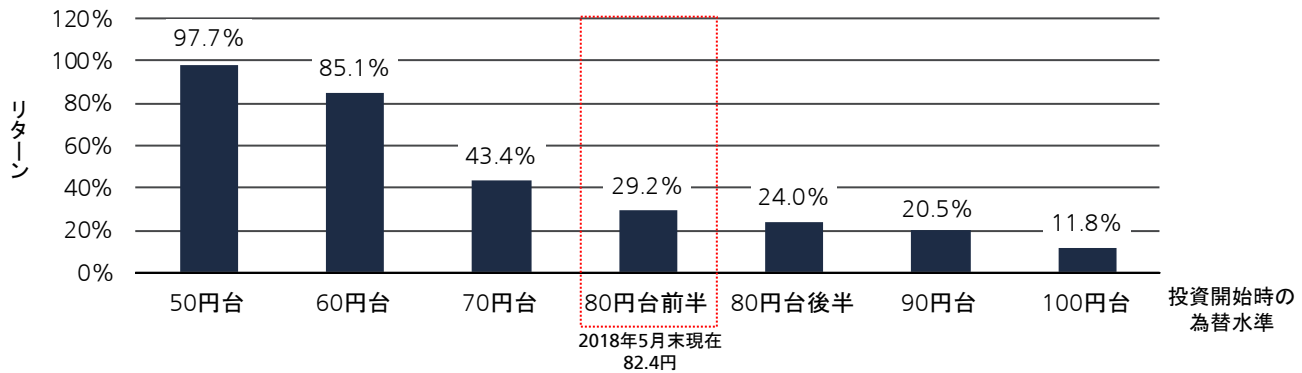
■ 投資開始から3年後の平均リターン(円換算ベース)

(投資開始:2003年5月末~2015年5月末、投資終了:2006年5月末~2018年5月末)



■ 投資開始から5年後の平均リターン(円換算ベース)

(投資開始:2003年5月末~2013年5月末、投資終了:2008年5月末~2018年5月末)



出所:トムソン・ロイター 豪州債券は、ブルームバーグ・オーストラリア債券(0-3年)指数のデータを使用
上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

UBSアセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第412号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

<ご留意事項>投資信託のリスクおよび費用は投資信託ごとに異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面でご確認ください。なお、以下に記載するリスクおよび費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましてはUBSアセット・マネジメント株式会社が運用するすべての公募投資信託のうち、徴収する各費用における最高の料率を記載しております。購入のお申込にあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断くださいますようお願いいたします。**<投資信託のリスクについて>**投資信託は株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資家の皆様の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、元本を割り込むことがあります。また、投資信託は、預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。投資信託のリスクは投資対象資産の種類、投資制限、取引市場、投資対象国等により異なります。※詳しくは各投資信託の目論見書および契約締結前交付書面等にてご確認ください。

<投資信託の費用について>投資信託のご購入時や保有期間中には以下の費用がかかります。【直接ご負担いただく費用】・購入時:購入時手数料:上限3.78%(税抜3.50%)・換金時:信託財産留保額:上限0.3%、【保有期間中に間接的にご負担いただく費用】・運用管理費用(信託報酬):上限約2.4839%(税込)(ファンドオブファンズの投資先ファンドの概算値を含む)・その他の費用(監査報酬、有価証券売買委託手数料、信託事務の諸費用等)をご負担いただきます。※これらの費用の額および計算方法等は、投資信託毎に異なります。詳しくは各投資信託の目論見書および契約締結前交付書面等にてご確認ください。

本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、信頼できる情報をもとにUBSアセット・マネジメント株式会社によって作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料で使用している指数等に係る知的所有権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。本資料に記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。© UBS 2018. キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。